

大学等進学後の奨学金について

- 奨学金には、「給付型」と「貸与型」の2タイプがあります。
「給付型」は、返済の必要はありません。「貸与型」は、返済の必要があります。
- 奨学金は、多くの場合、「保護者の所得」および「本人の成績」による審査があります。
- 大学生、専門学校生が利用している最も一般的な奨学金は、国が実施している「日本学生支援機構」の奨学金です。この奨学金については、予約採用（高校3年生の時に学校を通して申し込む）と、在学採用（大学等に進学後に申し込む）とがあります。
- そのほかに、数は限られていますが、自治体や大学等が独自に実施している奨学金の制度もあります。

「日本学生支援機構」の奨学金について

この奨学金には三つの種類があります。

A 給付型奨学金

- …住民税非課税（またはそれに準ずる）世帯が対象です。
返済の必要がないので、該当する場合は申し込むことをおすすめします。

B 貸与型奨学金第Ⅰ種（無利子）

- …返済が必要です（最長20年間）。利子につきません。
所得基準、成績基準ともにⅡ種よりも厳しくなります。

C 貸与型奨学金第Ⅱ種（有利子）

- …返済が必要です（最長20年間）。利子がつきます。

【注意点】

- ①貸与型の奨学金は生徒本人の借金であり、将来にわたって返済の義務が生じます。
何とか利用せずに済みそうなら、できるだけ利用しないことをおすすめします。
進学後に申し込むことも可能です。
- ②早くても入学後の5月にしか振り込まれないので、入学金など、合格後の手続きには使えません。

【今後のスケジュール】 ※あくまで予定であり、変更する可能性があります。

- 6月上旬・・・生徒対象の説明会を開催（学校にて）
- 6月中旬・・・申請書類の提出
- 6月下旬・・・インターネットで申込み手続き（学校にて）
- 11月下旬・・・結果が学校に送付される

さらに詳しく知りたいときは、「日本学生支援機構ホームページ」をご覧ください。